

主な輸出先国	台湾、香港等（2023年）	輸出実績	780t（2023年）
対象となる 地域	鹿児島県指宿市・鹿児島市・姶良市・南九州市・南さつま市・阿久根市・出水市・出水郡長島町、宮崎県小林市・えびの市		

輸出産地の概況

- ・メンバーである水迫グループ（約40生産者）に加えてJA鹿児島いずみ（約62生産者）全体で、動物福祉に対応する取り組みを促進している。
- ・牛肉への残留物質リスクを軽減するために、厳格な休薬期間を順守し、安心安全な牛肉の生産に努めている。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取り組み

- ・細菌検査等の日持ち検査を経て、真空包装し2℃以下で流通することで賞味期限を85日まで延長。動物福祉の対応として鼻環牽引を減らし、頭絡の着用率を75%まで向上させた。
- ・輸出先の要望に合わせた、カット規格の開発や、ニーズに対応したスキnpack製品の開発製造を実施。

アピールポイント

- ・指定の生産者・産地から輸出先の規制に沿って生産された牛を搬入。
- ・加工工場はSQF認証を取得、食肉加工の全工程で加工・品質を徹底管理。
- ・日本産牛肉を51の国と地域に輸出が可能であり、部分肉製造マイスターの資格を有する技術者らが監督指導の下、海外マーケットに合わせた商品づくりを徹底。
- ・和牛の輸出専用ブランド【AKUNE GOLD】を展開。



動物福祉視察
(英国、デンマーク)



展示会への出展
(鹿児島県と協働)
(米国)



海外得意先を招聘し、農場訪問
(米国、欧州)



海外得意先を招聘し、工場見学・カット実演。